

第6回東郷町都市計画マスタープラン検討委員会会議次第
議 事 要 旨

日 時：令和2年10月22日（木）午後1時～午後2時15分

場 所：東郷町役場3階政策審議会室

出席者：高取会長、松尾副会長、小野田委員、中根委員、近藤委員、石川委員、佐藤委員、西山委員、野々山委員、菅沼委員、杉本委員、松原委員、脇坂委員（13名）

【議事の概要】

項目	議事概要
挨拶	<p>【都市建設部部長挨拶の概要】</p> <p>・今回の第6回東郷町都市計画マスタープラン検討委員会は、今までの庁内作業部会・検討委員会等でのご意見を踏まえて、パブリックコメント前の最終(案)として、資料を取り纏めております。その為、最終的な(案)として、今一度精査して頂くことをお願い申し上げ、挨拶とします。</p>
議事概要	<p>議題1 第5回東郷町都市計画マスタープラン検討委員会における主なご意見とその対応</p> <p>○資料1「第5回東郷町都市計画マスタープラン検討委員会における主なご意見と対応方針」に基づき事務局より説明を実施。(報告事項であるため意見交換なし)</p> <p>議題2 第6回東郷町都市計画マスタープラン検討委員会用資料</p> <p>○資料2「第6回東郷町都市計画マスタープラン検討委員会用資料」に基づき事務局より説明を実施。</p> <p>質疑応答</p> <p>Q:(松尾副会長)57ページで各種のバス路線を描いている。各路線の役割は網形成計画の役割なのかもしれないが、都市マスにも記載があったほうがよいのではないか。</p> <p>A:(事務局)各路線の役割は本編か巻末の用語解説に記載する方向で検討する。</p> <p>Q:(松尾副会長)庁内調整されている内容は網形成計画で記載するということか。</p> <p>A:(事務局)都市計画マスタープランの情報を提供し、網形成計画の内容を調整していくこととしている。</p> <p>Q:(松尾副会長)網形成計画の方でも実際に地域生活拠点が交通の拠点として妥当という判断がなされたのか。</p> <p>A:(事務局)拠点については公共交通網形成計画の担当と調整しているが、既にじゅんかいバスや名鉄バスが通っていること、準幹線バスも既存路線と一致していることから今後もこの図のとおり大きく変わることはないと考えている。</p> <p>Q:(高取委員長)バス路線のうち既存路線と今後の計画路線など新旧の表現はできるか。</p> <p>A:(事務局)オレンジ色で記載したシャトルバスが新規で計画しているものである。支線バスも現状から変更する部分がある。新旧の表現については網形成計画の方でも議論されるため、表現もそちらの議論に合わせていきたい。</p> <p style="text-align: right;">～裏面へ～</p>

Q:(菅沼委員)パブリックコメントで意見をもらうのは難しいことだと思うが、周知の方法や概要版の配布などの予定はあるか。

A:広報での周知や、概要版の作成を予定している。

Q:(松原委員)今回9月にららぽーとができたこともあり、バスには若い人も載っているように見える。どんな状況か、新しい課題や変化があったか。

A:(事務局)開業当初は道路が混雑する日もあったが、今は土日以外は落ち着いてきた。集客力もある施設であり、ららぽーとの一角では行政情報も発信しているため、シティプロモーションも併せて展開していく。

Q:(高取委員長)ららぽーとの状況や町との連携は、今説明されたような施設の活用による連携も都市マス43ページ等にも記載していくとよい。連携やマネジメントの体制も意識して、管理体制のことも記載できるとよい。

A:(事務局)86ページにららぽーとと行政の連携については、具体的な記載をしているが、管理体制に関する記載については、検討する。

Q:(松原委員)37ページの将来都市像はこのかたちのままパブリックコメントに載るのか。

A:(事務局)パブリックコメントまでに総合計画の案が固まればその内容を載せるが、間に合わなければ整合を図るとの注釈を載せる方向で調整する。

Q:(松尾副委員長)他の新市街地は市街化区域をつなぐような位置にあるが、愛知池西の新市街地は、実際にどのような運用を想定するか。かなり市街化を促進するというイメージか。現状では都市基盤がないところでどのような考え方であるか。

A:(事務局)愛知池西新市街地の開発イメージについては、地区計画による住居系市街地を想定している。

Q:(松尾副委員長)積極的に住居を呼ぶイメージか。

A:(事務局)このエリアでは住居もいくつかある。将来的には駅から近い市街地として開発するイメージを持っている。

Q:(松尾副委員長)今すぐということではなく将来的な位置づけということで理解した。

Q:(高取委員長)地区計画など手法まで記載するか。

A:(事務局)まだそのほかの手法についても可能性を検討するため、そこまで記載していない。

Q:(高取委員長)43ページのセントラル地区について、先端技術の活用は記載されたが具体的には交通面での活用を想定されているか。

A:(事務局)交通関係で自動運転バスを試験的に運行している。実際に実施されているのは交通の関係であるがここでは交通に限定して書き方はしていない。

～裏面へ～

	<p>Q:(高取委員長)58ページの公園緑地を活用する仕組みについて付け加えるとすれば、町民が受動的に情報を受けるだけではなく、町民意見やアイデアを受け止める仕組みづくりがあると良い。</p> <p>A:(事務局)58ページのなかでも双方向の情報交換などのイメージを加えていきたい。</p> <p>Q:(松尾副委員長)用語の解説のうち118ページのモビリティサービスは MaaS よりももう少し広い概念。モビリティサービス=MaaS ではなく、自動車による移動だけでもない。</p> <p>A:(事務局)モビリティサービスは55ページで使っており、MaaS というよりより広い移動サービスを指している。計画書内での記載に合うように用語の解説を見直したい。</p> <p>Q:(野々山委員)用語解説されている文言は、後ろを見れば解説が載っていることが分かったほうがよい。本文中に小さなアスタリスクマークを付けるなど、わかりやすい表現をしてほしい。</p> <p>A:(事務局)承知した。</p> <p>Q:(高取委員長)60ページに歩行者自転車のネットワークが記載されているが、セントラル地区の開発によっていろいろな方が訪れるようになり、東郷町のいろいろな地域資源を見てまわる観光ルートのようなものが設定できると新たな魅力づけになるのではないか。例えばセントラル地区にシェアサイクルを導入して周辺とネットワークするなど。</p> <p>A:(事務局)計画書では川を中心としたネットワークが記載されている。まずは現在の自転車ネットワークを意識してもらい、新たなネットワークは個別の計画のなかで検討していくなどの対応が考えられる。都市マスでは現在計画のない具体的なネットワークまでは書けないところもある。</p> <p>Q:(高取委員長)ハードなネットワークだけでなくソフトな施策も取り入れると魅力ある施策になるのではないか。</p> <p>A:(事務局)都市マス上での記載が出来ないか、検討していきたい。</p> <p>Q:(小野田委員)社寺のうち円盛寺、御嶽神社などが抜けているのではないか。</p> <p>A:(事務局)60ページ、9ページともに抜けている社寺林があれば修正していく。</p>
<p>事務 連絡</p>	<p>・次回委員会はパブリックコメント後の1月頃を予定している。具体的な日程については、改めて調整させていただきたい。(事務局)</p>

以上